

■ 施策評価シート

施策番号	14-01-①
施策名	自然環境の保全

<p>施策の概要</p> <p>「草津市の自然と人との共生をすすめる施策の推進計画」に基づき、緑再生プロジェクト、生き物調査プロジェクトなどを市民・団体・事業所などとともに進めます。</p>

成果指標(単位)	いきもの調査の参加者数(人)			
	平成25年度 (※基準値)	平成26年度	平成27年度	平成28年度
目標値		635	640	645
実績値	630	595		

<p>成果指標実績に対するコメント</p> <p>昨年度については、いきもの調査を夏と春の2回実施した。「サクラ調査」については、「セミ調査」と比較すると、小学生を含む10代以下の参加割合が低く、こどもたちにとっては動物の方が関心が高く、調査しやすいのではないかと感じた。</p>
--

<p>施策の達成度評価</p> <p>いきもの調査を通して、身近な自然に興味・関心を持ち、その大切さを知っていただくことができた。また、平成24・25年度の2年間に実施した調査をもとに、「草津市の自然」を発刊した。</p>

<p>評価に基づいた平成28年度取組みについての考え方</p> <p>いきもの調査などにおいて「草津市の自然」を活用し、市民が身近な自然に興味・関心を持つことができる機会づくりを引き続き進める。</p>

<p>施策実績に影響を与えた外的要因その他特記事項</p> <p>いきもの調査参加者数増加に向け、子どもたちが興味を抱くような調査対象および調査方法などの市内で行われる いきもの調査のサポートなども検討する。</p>
--

■ 施策に含まれる主要事業一覧

主要事業	担当課	成果達成度 (主要事業のみ)	達成度評価理由
自然環境保護事業	環境課	○	自然環境保全地区への助成や保護樹木の健康診断を通じて、市内の良好な環境を保全した。
自然環境保全啓発推進事業	環境課	○	「草津市の自然」を発刊するとともに、いきもの調査においてたくさんの市民の参加があった。

■ 施策に含まれるその他の事業一覧

事務事業	担当課
鳥獣保護推進事業	環境課
環境審議会運営事務	環境課

成果達成度の表示について

- ◎ 期待を超える成果があった
- 期待どおりの成果があった
- △ 期待未達の成果であった

※施策に含まれる事務事業のうち、主要事業についてのみ記載しています。

■ 施策評価シート

施策番号	14-01-②
施策名	環境学習の内容充実

<p>施策の概要</p> <p>環境学習等に関わる様々な活動情報を提供・発信できる場づくりや、環境学習に取り組む人・団体などの活動支援を図ります。</p>

成果指標(単位)	こども環境会議参加団体数(団体)			
	平成25年度 (※基準値)	平成26年度	平成27年度	平成28年度
目標値		62	63	63
実績値	60	50		

<p>成果指標実績に対するコメント</p> <p>参加者数や市内小中学校からの参加団体数は継続しているものの、大人の団体からの参加が減ったことで、参加者団体数としては減少に転じた。</p>
--

<p>施策の達成度評価</p> <p>環境基本計画に基づき、環境学習社会づくりとして、こども環境会議の開催や環境学習教材の貸出等、施策の目標達成のために事業を行った。こども環境会議への大人の参加団体数が減少に転じたものの、参加者数や、市内小中学校からの参加団体数は継続しており、環境活動が活発に行われ、その発表の場として認知されていると評価できる。 一方で、多様な参加者の交流を図る観点から、大人の団体の参加を引き続き促していく必要がある。</p>
--

<p>評価に基づいた平成28年度取組みについての考え方</p> <p>成果指標の目標値達成に向けて、こども環境会議へ多様な団体の参加を呼びかけるとともに、環境活動情報を発信できる場を充実させるために、提供できる環境情報の協力を企業や団体に広く呼びかける。</p>

<p>施策実績に影響を与えた外的要因その他特記事項</p> <p>参加団体数減少の要因として、平成26年度は慣例と異なる日程となったことなどが挙げられることから、日程の早期の周知に努めたい。</p>

■ 施策に含まれる主要事業一覧

主要事業	担当課	成果達成度 (主要事業のみ)	達成度評価理由
環境学習推進事業	環境課	○	「こども環境会議」の参加団体数としては減少に転じたが、市内小中学校からは継続して参加を得られており、当該事業が環境活動を発表できる場として認知されていることを示すもので、一定の成果があった。

■ 施策に含まれるその他の事業一覧

事務事業	担当課

成果達成度の表示について

- ◎ 期待を超える成果があった
- 期待どおりの成果があった
- △ 期待未達の成果であった

※施策に含まれる事務事業のうち、主要事業についてのみ記載しています。

■ 施策評価シート

施策番号	14-01-③
施策名	環境汚染、環境負荷対策の促進

<p>施策の概要</p> <p>大気や琵琶湖・河川水質等に係る環境調査を継続的に実施するとともに環境負荷の低減のため事業所等の適切な指導に努めます。</p>
--

成果指標(単位)	環境管理基準(BOD)の達成状況(達成回数/測定回数) (%)			
	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
目標値	(※基準値)	100	100	100
実績値	100	95.8		

<p>成果指標実績に対するコメント</p> <p>平成26年度は伊佐々川では全て達成できたものの、狼川において1回達成できなかった。前年度は達成状況が100%であったが、平成21～24年度は83.3～87.5%で推移していた状況であり、前年度に続き環境管理基準の達成状況として以前より上昇している。</p>

<p>施策の達成度評価</p> <p>調査の結果、狼川において、BODが1回、環境管理基準を超過していた。原因究明のため、狼川流域の事業所の工場排水調査を実施したが、排水基準を超過する事業所はなかった。排水基準超過の事業所はないものの、狼川流域は事業所が多く、事業所排水が多量に流れ込む負荷量の高い河川と言え、概ね環境管理基準を達成できており評価できる。規制違反の事業所はないものの、継続して事業所指導を行い、今後も河川水質を監視していく必要がある。</p>

<p>評価に基づいた平成28年度取組みについての考え方</p> <p>河川水質の監視を続けるとともに、環境負荷の低減に向け事業所等の適切な指導に努める。</p>
--

<p>施策実績に影響を与えた外的要因その他特記事項</p>

■ 施策に含まれる主要事業一覧

主要事業	担当課	成果達成度 (主要事業のみ)	達成度評価理由
環境調査事業	環境課	○	環境管理基準(BOD)を100%近く達成できた。
事業所等指導事業	環境課	○	定期的に事業所の立入指導を実施するとともに、環境負荷が大きいと懸念される事業所を定期的にパトロールし、積極的に指導・啓発できた。

■ 施策に含まれるその他の事業一覧

事務事業	担当課
流域下水道維持管理費負担金事務	河川課
市街地排水浄化施設維持管理事業	河川課
生活排水対策推進事業	上下水道施設課
浄化槽法等指導事業	上下水道施設課

成果達成度の表示について

- ◎ 期待を超える成果があった
- 期待どおりの成果があった
- △ 期待未達の成果であった

※施策に含まれる事務事業のうち、主要事業についてのみ記載しています。

■ 施策評価シート

様 式

施策番号	14-02-①
施策名	様々な主体が参画するプラットフォームの構築

施策の概要

様々な主体が参画する「草津市地球冷やしたい推進協議会」のネットワークを拡充させ、低炭素社会への転換に向けた取り組みを推進します。

成果指標(単位)	草津市地球冷やしたい推進協議会会員数(者)			
	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
目標値	(※基準値)	74	76	78
実績値	69	69		

成果指標実績に対するコメント

各種イベントやHPを通じて協議会活動のPR、「愛する地球のために約束する協定」締結の促進を行ったが、協議会員数については前年度から増加はなく、平成26年度末の目標値には及ばなかった。今後は目標の達成に向け、新規業種への協定締結促進等、会員数の増加に努める。

施策の達成度評価

地域で小水力発電を実施する先進地への視察や、温暖化防止月間イベントでの普及・啓発の実施など、協議会全体で温暖化防止に向けて取り組むことができた。今後は、協議会員数の数を増やし、そのネットワークを利用しながら、低炭素社会実現に向けた取り組みを進める必要がある。

評価に基づいた平成28年度取組みについての考え方

各種イベントやHPなどを通じて協議会への加入を促すとともに、協議会員間の横の繋がりを生かし、低炭素社会への転換に向け、引き続き取り組みを進める。

施策実績に影響を与えた外的要因その他特記事項

■ 施策に含まれる主要事業一覧

主要事業	担当課	成果達成度 (主要事業のみ)	達成度評価理由
地域協議会運営事業	環境課	○	協議会員数は増加しなかったが、協議会としては研修の実施など、温暖化防止に向けて取り組むことができた。

■ 施策に含まれるその他の事業一覧

事務事業	担当課
広報啓発活動事業	環境課

成果達成度の表示について

- ◎ 期待を超える成果があった
- 期待通りの成果があった
- △ 期待未達の成果であった

※施策に含まれる事務事業のうち、主要事業についてのみ記載しています。

■ 施策評価シート

施策番号	14-02-②
施策名	省エネルギーと新エネルギー利用の推進

<p>施策の概要</p> <p>省エネルギーに配慮した生活・事業活動を促進するとともに、新エネルギーの利用促進を図ります。</p>

成果指標(単位)	各種イベントにおける省エネ、新エネの利用促進に係る啓発者数(人)			
	平成25年度 (※基準値)	平成26年度	平成27年度	平成28年度
目標値		2,400	2,500	2,600
実績値	2,300	2,430		

<p>成果指標実績に対するコメント</p> <p>HPや広報、チラシ(リーフレット作成)等の周知方法を見直した結果、目標値より30人上回る結果となった。</p>
--

<p>施策の達成度評価</p> <p>宿場まつり(市民向け)や草津エコフォーラム(主に事業者向け)、草津市地球冷やしたい推進フェア(市民向け)など、異なる対象および時期において、省エネルギーおよび新エネルギーを周知するためのイベントを開催した。各イベントにおいて、目標値を上回る実績人数が得られた。</p>

<p>評価に基づいた平成28年度取組みについての考え方</p> <p>実績人数を増やしていくため、各種イベントにおいて、より多くの方に啓発し、省エネルギーに配慮した活動の促進や新エネルギーの利用促進を図る必要がある。そのためには、周知方法の更なる工夫と、省エネルギー・新エネルギーに関する最新の情報を入手し、イベント内容の充実を試みる。</p>
--

<p>施策実績に影響を与えた外的要因その他特記事項</p>

■ 施策に含まれる主要事業一覧

主要事業	担当課	成果達成度 (主要事業のみ)	達成度評価理由
エネルギー対策事業	環境課	○	創エネ機器補助制度は半年足らずで予算額に達するなど、一定の成果を上げることができた。

■ 施策に含まれるその他の事業一覧

事務事業	担当課
風力発電施設維持管理事業	環境課

成果達成度の表示について

- ◎ 期待を超える成果があった
- 期待どおりの成果があった
- △ 期待未満の成果であった

※施策に含まれる事務事業のうち、主要事業についてのみ記載しています。

■ 施策評価シート

施策番号	14-03-①
施策名	廃棄物の発生抑制・資源化の推進

<p>施策の概要</p> <p>ごみ収集方法を見直すなど、ごみの減量・資源化を推進します。</p>

成果指標(単位)	ごみの資源化率: 資源化ごみ量/ごみ発生量(%)			
	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
目標値	(※基準値)	22.8	23.0	23.2
実績値	19.5	19.2		

<p>成果指標実績に対するコメント</p> <p>平成26年度における「ごみの資源化率」は、目標値22.8%に対して、実績は19.2%であり、目標に達しなかった。資源回収量が減少(4,551t⇒4,366t)したが、最も多かった前年度に次いで過去2番目に多い量であり、資源化に向けた市民の取り組みや意識の向上は見られている。</p>
--

<p>施策の達成度評価</p> <p>家庭系一般廃棄物のうち、焼却ごみ量については平成25年度に比べて0.24%増加した一方、資源化ごみ量については3.2%減少した。 事業系一般廃棄物については、減量・資源化に向け、事業所を直接訪問し、指導啓発を実施した結果、平成25年度に比べて3.8%減少した。</p>

<p>評価に基づいた平成28年度取組みについての考え方</p> <p>ごみ処理基本計画の中間目標年度(平成27年度)において、計画期間の前期6年の取組の成果や課題の検証と、同計画の点検、評価、見直しを行い、後期6か年に取り組みべき施策等を定めた計画(改訂版)を策定する。その策定過程で廃棄物減量等推進審議会から出された意見を踏まえ、当該計画(改訂版)に基づき目標達成に向け取り組んでいく。</p>
--

<p>施策実績に影響を与えた外的要因その他特記事項</p>

■ 施策に含まれる主要事業一覧

主要事業	担当課	成果達成度 (主要事業のみ)	達成度評価理由
ごみ問題を考える草津市民会議活動補助事業	ごみ減量推進課	○	市民会議が主催となり、市内一斉清掃やリサイクルフェアの開催、各種イベントでの啓発等、3Rの推進に努めた。
資源ごみ収集運搬事業	ごみ減量推進課	○	ペットボトル、空き缶、びん、古紙の定期収集と、乾電池、蛍光灯の拠点回収を実施し、ごみ減量とリサイクルの推進に努めた。

■ 施策に含まれるその他の事業一覧

事務事業	担当課
リサイクルの館管理運営事業	ごみ減量推進課
ごみ減量化推進事業	ごみ減量推進課
プラスチックごみ資源化処理事業	クリーンセンター
金属ごみ資源化処理事業	クリーンセンター
びん類ごみ資源化処理事業	クリーンセンター
ペットボトルごみ資源化処理事業	クリーンセンター
廃乾電池・廃蛍光灯資源化処理事業	クリーンセンター

成果達成度の表示について

- ◎ 期待を超える成果があった
- 期待どおりの成果があった
- △ 期待未満の成果であった

※ 施策に含まれる事務事業のうち、主要事業についてのみ記載しています。

■ 施策評価シート

施策番号	14-03-②
施策名	廃棄物の適正処理

<p>施策の概要</p> <p>処理方法に適した分別方式や、ごみ量に応じた収集体制を整備するとともに、各種施設を計画的に整備し、ごみを適正に処理します。</p>
--

成果指標(単位)	排ガス中のダイオキシン類測定結果 (ng-TEQ/Nm ³)			
	平成25年度 (※基準値)	平成26年度	平成27年度	平成28年度
目標値		1	1	1
実績値	0.020	0.035		

<p>成果指標実績に対するコメント</p> <p>一般廃棄物処理施設の維持管理の技術上の基準を満たすよう施設の運転を行った結果、排ガス中のダイオキシン類の測定値は、法令で定められた基準値の5ng-TEQ/Nm³はもちろんのこと、目標値である1ng-TEQ/Nm³も満たすことができた。</p>
--

<p>施策の達成度評価</p> <p>一般廃棄物処理実施計画に基づき、一般廃棄物の収集、運搬、処分等を行った。現施設については、老朽化が進んでいることから、計画的・定期的に補修を実施し、ごみ焼却処理施設の適正な維持管理に努めた。また、廃棄物処理施設の更新整備にかかる準備業務を進めた。</p>
--

<p>評価に基づいた平成28年度取組みについての考え方</p> <p>引き続き適正なごみ処理に努めるとともに、廃棄物処理施設の更新整備工事を進める。</p>
--

<p>施策実績に影響を与えた外的要因その他特記事項</p>

■ 施策に含まれる主要事業一覧

主要事業	担当課	成果達成度 (主要事業のみ)	達成度評価理由
ごみ収集運搬事業	ごみ減量推進課	○	各家庭から排出される廃棄物の定期収集を行うことにより、生活環境の保全に努めた。
焼却ごみ処理事業	クリーンセンター	○	計画的・定期的に施設の補修を実施し、ごみ焼却処理施設の適正な維持管理をすることができた。
廃棄物処理施設整備事業	廃棄物処理施設建設室	○	廃棄物処理施設の更新整備工事を実施する業者を選定することができた。

■ 施策に含まれるその他の事業一覧

事務事業	担当課
ごみステーション新設改修補助事業	ごみ減量推進課
下水道整備合理化推進事業	ごみ減量推進課
広域廃棄物埋立処分場建設費負担金事業	ごみ減量推進課
草津市処分場管理事業	ごみ減量推進課
湖南広域行政組合運営負担金事務	ごみ減量推進課
指定ごみ袋購入配布事業	ごみ減量推進課
ごみ分別啓発事業	ごみ減量推進課
クリーンセンター管理運営事業	クリーンセンター
陶器・ガラスごみ処理事業	クリーンセンター
破碎・粗大ごみ処理事業	クリーンセンター

成果達成度の表示について

◎ 期待を超える成果があった
○ 期待どおりの成果があった
△ 期待未達の成果であった

※施策に含まれる事務事業のうち、主要事業についてのみ記載しています。

■ 施策評価シート

施策番号	14-03-③
施策名	環境美化の推進

<p>施策の概要</p> <p>ごみの不法投棄防止のため、定期的なパトロールを実施するほか、市民・事業者・行政等が協力し、環境美化に努めます。</p>

成果指標(単位)	不法投棄ごみ率:不法投棄ごみ量/ごみ発生量 (%)			
	平成25年度 (※基準値)	平成26年度	平成27年度	平成28年度
目標値		0.00	0.00	0.00
実績値	0.07	0.07		

<p>成果指標実績に対するコメント</p> <p>不法投棄ごみ量は減少(28.0t⇒26.4t)しており、パトロールや啓発により、市民の環境美化に関する意識が向上していると考えられる。 不法投棄ごみ率が前年度と同じ率となったのは、ごみ発生量も減少(38,795.1t⇒38,209.5t)したためである。</p>
--

<p>施策の達成度評価</p> <p>不法投棄の多発箇所は、20箇所(平成25)から21箇所となった(7箇所が改善、8箇所が新規)が、年間の新規多発箇所は20箇所(平成25)から8箇所に減少しており、パトロール業務の継続や監視カメラ設置(6台)による不法投棄の防止につながった。</p>

<p>評価に基づいた平成28年度取組みについての考え方</p> <p>事業効果が高いことから引き続きパトロール業務を継続し、また監視カメラ等を有効に活用し、ねばり強く不法投棄解消を目指す。 悪質性が高いと判断した場合は、警察への通報も含め、地域と連携し解決を図る。</p>
--

<p>施策実績に影響を与えた外的要因その他特記事項</p>

■ 施策に含まれる主要事業一覧

主要事業	担当課	成果達成度 (主要事業のみ)	達成度評価理由
不法投棄対策事業	ごみ減量推進課	○	不法投棄の多発箇所は、20箇所(平成25)から21箇所となった(7箇所が改善、8箇所が新規)が、年間の新規多発箇所は20箇所(平成25)から8箇所に減少しており、パトロール業務の継続や監視カメラ設置(6台)による不法投棄の防止につながった。

■ 施策に含まれるその他の事業一覧

事務事業	担当課
放置自動車廃物判定委員会運営事業	ごみ減量推進課
生活環境等対策事業	クリーンセンター

成果達成度の表示について

- ◎ 期待を超える成果があった
- 期待どおりの成果があった
- △ 期待未達の成果であった

※施策に含まれる事務事業のうち、主要事